

ボランティア

* * *『賀川豊彦』が教科書に掲載されました* * *

この秋の2学期から神戸市の小学4年生の『社会科』の授業“わたしたちの神戸”で賀川豊彦についての勉強が始まりました。

タイトルは **共に生きる社会（賀川豊彦）** さて、今、多くの人は賀川豊彦のことを知りません。1930年代には、日本人の殆どが賀川豊彦のことを知っていました。それだけではなく、同時に尊敬されていました。現在の状況は残念な事です。今こそ賀川豊彦が大切にしてきた精神である『共に生きる』心を、みんなでもう一度考える時だと思います。そのような時に神戸市の小学4年生の皆さん、賀川豊彦について学習する時間をもつ事が出来るのは大変意義があります。又、地域福祉、労働組合、生活協同組合、農民組合、助け合いの共済、医療生協、信用組合、震災支援、国際平和の活動等、賀川豊彦が助け合いの組織を立ち上げ、現在の助け合いの社会の基礎を作ってくれた事をこの機会に4年生のご家族も一緒に学んでいただきたいと思います。そして私たちの郷土にノーベル平和賞の候補に3回、ノーベル文学賞の候補に2回も挙げられ、『賀川、ガンジー、シュバイツワー 世界の3大聖人』と言われた賀川豊彦が生まれ、活動した事を誇りにしたいだきたいたいと思います。

“賀川豊彦を学べ”と言っても、賀川豊彦から何を学ぶのでしょうか？上に書いたような活動を一人で始めたので、この発想力や実践力は驚異的だと言って、驚き尊敬するのでしょうか。300冊以上の著作を書いた能力をすごいと感心するのでしょうか。



賀川豊彦の生きた時代は、5つの大きな戦争がありました。日清戦争、日露戦争、第一次世界大戦、日中戦争、第二次世界大戦です。戦争が起きて、終わっても誰も幸せになりません。みんな不幸になりました。そのような時代の中で、目の前の不幸になった人々のために、自分のことを考えないで自分の身を削って奉仕をしたのです。貧しい地域に入り貧しい人々のために働き、貧しい人々を作り出していた社会を改善する仕組みを作り、困窮の極みにあった農民を救ってきました。そのような中から労働組合、生活協同組合（コープ）、農民組合などが生まれました。結果としてこれらの組織が戦後の民主的な日本の基礎になったのです。

子どもたちに学んで欲しいのは賀川豊彦が自分も貧しい生活をしながら、なぜ他人のために努力したのか、なぜ貧しい人々や弱い人々のために自分のことを考えないで一生涯を奉仕したのか、です。そして賀川豊彦は幸せだったのか、不幸だったのか？

4年生は考えます。

神戸市の小学4年生8校641人が賀川豊彦学習に来館

今年から小学4年生の社会の教科書に「私たちの神戸・先人の働き」として、賀川豊彦が12ページにわたって写真入りで詳しく紹介されています。しかし、もっと詳しく知りたいと言うことで11月10日現在 568人の生徒が来館の申し込みをされています。既に2校が来られました。北五葉小学校、小寺小学校の2校です。生徒達は大変熱心に60分の講義を聞いてくれました。メモを取り、講義の後は質問をします。核心をついた質問です。例えば「なぜ賀川さんは、自分が病気で苦しいのに人のために働いたのですか?」「なぜ平和のために働いたのですか?」などです。そして学校に帰ってからお札状と感想文を送ってくされました。素晴らしい子ども達です。

この後6校が来館予定ですが、これら以外にまだ問合せが来ています。最終的には10校を超すのではないかと思います。賀川記念館としては、神戸にある163校すべての小学4年生約1万人に、賀川豊彦の生き様を感じて、人生に何が大切なのかを学んでもらいたいと願っています。6年計画で挑戦します。



■■■ 天国屋カフェ ボランティア紹介（近藤奈苗さん） ■■■

夫の紹介で天国屋カフェを知り、2018年からボランティアを始めました。包丁使いが上手な人、盛り付けが好きな人、洗い物が得意な人、スタッフ一人ひとりの賜物を活かしてみんなで居心地の良い場所を作り出すことに喜びを感じています。

今では私自身の居心地のいい場所にもなっています。美味しい食事や交わりを通して、地域の方々に温かい空間を提供できるように貢献したいと思っています。



■■■ 天国屋カフェからのお知らせ ■■■

天国屋カフェのツイッター、インスタグラム、フェイスブック、ユーチューブチャンネルを開設いたしました！！このコロナ禍の中で、なかなかご来店いただけない方にも天国屋の日常をお伝えしたいと思い、作りました。日替わりメニューから、スタッフの一言など幅広く配信しています。もしご利用の方がおりましたら、是非ご視聴、ご登録、フォローをよろしくお願い致します！！

天国屋 Twitter
@tengokuya_cafe



天国屋 Instagram
@tengokuyacafe



天国屋 Facebook
@kmc.tengokuyacafe



天国屋 Youtube
天国屋カフェで検索！



コロナ禍における保育（友愛幼稚園）

新型コロナ感染症の中で、どのように保育をしていくのか…は大きな課題です。安全で安心して過ごすことは、あたりまえの事としてとらえていましたが、この状況の中で厳しいことを痛感する毎日です。

緊急事態宣言が出され、「限定された仕事の保護者の園児のみの保育をする。」ということが示され、そのことを保護者に理解していただくためにひとりひとりに電話で連絡をしました。保護者の方は、これから的生活はどうなるのか…という心配と不安で一杯だったと思います。保護者の方に、しっかり伝えていくことで信頼関係も作られました。外に出る事が感染につ



みんなで育てた大根（園庭にて）

ながるといわれ、町から人が見られなくなりました。不穏な空気が流れていきました。

友愛幼稚園も、保育を受ける園児も極端に減りました。子どもの声が聞こえない園は、寂しいです。やがて、6月になりいつも通りの保育に戻り、子どもの声がしてほっとしました。

保護者の方から、「いつも仕事に追われて、こんなに長い時間子どもと過ごすことがなかったけど、今回の事でずっと一緒にいて、色々な事ができるようになっていて大きくなつたなあ～と思いました。いい時間が過ごせました。」という声も聞きました。

職員も子どもたちも毎日検温し、体調を確認してから一日が始まります。幼児も2部に分かれて食事をしていますが、密を避けるということは、保育の中では難しいことです。日々触れ合い、頭を寄せて遊ぶことで、心と身体が育っていきます。豊かな人格を育てることが乳幼児期において特に大切です。限られた中で、いかに楽しく安全に生活できるかが与えられた課題です。子どもたちの笑顔を守るために職員全員で相談し、保護者の方の協力の元、このコロナの波を乗り越えていきたいと思います。消毒を毎日の日課としつつ…。

コロナ禍の研修について（イエス団本部）

3月頃から始まった新型コロナウイルスの感染拡大により、イエス団の法人主催の職員研修は次々と中止となりました。

3月には自然豊かな六甲山YMC Aでの1泊2日の新任職員研修を予定していましたが、その研修もなくなりました。例年の新任研修では、イエス団の理念の理解と職場での使命を考え、新しい職場に入る準備を行い、理事長による辞令交付と自らのミッションステートメントの発表により送り出しを行ってきました。同じような研修はできないかもしれません、同じイエス団の職員であることを実感し、またイエス団が大切にしている理念を伝える機会を持ちたいと考え、法人研修担当の「企画委員会研修チーム」が準備をし、去る11月7日（土）午後1時～5時まで、賀川記念館4階ホールにて「新任研修フォローアップセッション」を開催しました。

イエス団の施設は近畿圏以外にも広域にわたり、感染状況により賀川記念館での参加ができない職員もいるため、会場参加、オンライン参加、また当日の録画で研修を受けるオンデマンド参加の3つの参加方法をとりました。また、会場参加者には感染症対策として、検温、健康チェック票の記入、抗菌ウェットティッシュとフェイスシールドの配布、またホールの壁を全面あけて十分な換気を取

るなどの対応を行いました。

会場とオンラインを結ぶ初めての研修スタイルであり、また通常の研修よりはるかに短い研修時間のため、研修の効果は果たしてあるのかどうか最後まで悩みました。

しかし、研修後の参加者レポートを読むと、現場で今までにない不安な日々を過ごしていた新任職員にとって、自らの仕事の振り返りの場となったこと、イエス団が大事にしている「ミッションステートメント2009」の理解が深まること、他の施設の職員と話することで新たな学びの場となったこと、自らのミッションステートメントを考え発表することで、これからとの目標が明確になったこと、などが書かれ、前向きな姿にスタッフも元気をもらいました。

感染状況下の研修はまだ検討課題が多いですが、今後は新しい研修方法の検討も含め、様々な実施方法を検討する中、課題をクリアする努力を続けていきたいと思います。



「クリスマスは、あわれむのではなく、固く決意をする日」

神戸イエス団教会牧師 上内鏡子

あなたがたは、わたしたちの主イエス・キリストの恵みを知っています。すなわち、主は豊かであったのに、あなたがたのために貧しくなられた。それは、主の貧しさによって、あなたがたが豊かになるためだったのです。

IIコリントの信徒への手紙 8：9

賀川豊彦は「クリスマスは弱者の味方になるために、決心する日でなければならない」そして「毎日がクリスマスでなければならない」と言い遺されたそうです。

毎日クリスマスパーティをしようというのではないでしょう。「毎日が弱者の味方になるために決心する日だ」「それがクリスマスの大きな意味だ」ということです。この言葉は平易でありながら、真意について心の真ん中を貫く強いメッセージ性があります。一般的に考えるなら、弱者の味方とは、強い者や力のある者が、弱く力のない者を助けるという考え方でしょう。実際に、賀川は、貧しい人や苦しい人に食べ物や衣服を提供したり、病人のために診療所を開設したりしています。また、貧しい地域の子どもたちのためには、できる限りの学びの場を提供したり、子どもらしい時間を過ごす工夫をしたりしました。

しかし、忘れてはならない大切なことがまだあるのです。弱者の味方になるためには、哀れみではなくて決意が必要だということ、そして、助けてていると思い込んでいるわたしたちが、どこに立っているのかということです。それを気付かせてくれるのがクリスマスなのです。なぜなら、わたしたちの生きる視点を大きく変えてくれる出来事だからです。

クリスマスの原語的意味は、救い主イエス・キリストの誕生を祝う礼拝です。この歓びの季節、イエス・キリストは最も弱く貧しいかたちでこの地上に生まれ

ました。家畜の臭いがする馬小屋の、それも飼い葉桶の中に誕生した赤ん坊です。どうすれば、この赤ん坊が暗い世界を救い得たのか不思議です。

ところが、この小さな命のともし火が、希望となって心に灯し出されたのは誰なのか。それは貧しい野宿の羊飼いであり、外国人である博士たちであり、年老いたやもめだったと、クリスマス物語は伝えています。この人々は、賀川の語るいわゆる「社会的弱者（最微者）」であり、あるいは、釜ヶ崎で活動する本田哲郎神父の言う「最も小さくされた者たち」と同じ立場の人々でした。

冒頭の聖句「主は豊かであったのに貧しくなられ」「その貧しさによって、人は豊かになった」は、クリスマスの神髄を伝えています。イエス・キリストは貧しさや痛みと一緒に背負い、困難な道に寄添うために生まれたからです。わたしたちの人生は、幸せ一色に染まっている人生ではないはず。誰もが苦しみや悲しみを経験しています。イエス・キリストの前では、貧しい人や痛みを負う人々と何も違わない立場であるのです。だから、このことを踏まえて互いに共感し、一緒に重荷を担い合う決意をするように、賀川が「弱者の味方になる決意をする日」を「クリスマス」と言った理由がここにあると、わたしは信じます。



1909年12月24日、21歳の賀川豊彦は大八車を引いて、神戸のスラムに入りました。（賀川豊彦紙芝居より）

クリスマス献金のお願い

賀川記念館は、賀川豊彦が110年前にこの地で始めたセツルメント活動をふまえて、地域の福祉課題に取り組みます。「一人は万人のために 万人は一人のために」を標語とし、コミュニティセンターとして、周辺団体やこの地に生きる人たちと共に生き、地域社会に貢献できるよう事業を計画します。その為に多くの皆様のご支援をお願いします。

1. さまざまな人の居場所作りのために
2. 賀川記念館ミュージアム運営のために
3. 賀川記念館総合研究所プログラムのために

お振込は

郵便局：01140-8-372 社会福祉法人イエス団 賀川記念館
銀 行：三井住友銀行 三宮支店 普通 3253938



2020年度賀川記念館 賛助会から

いつも賀川記念館をお支えいただきありがとうございます。

2020年7月1日より11月30日までの報告をさせていただきます。

賛助会費	323,000円
寄付金	1,978,787円
真愛ホーム・友愛幼稚園寄付	8,000円
総合計	2,309,787円

これからも皆様のお支えにより、様々な活動を行ってまいります。今後とも引き続きご支援、ご協力をよろしくお願ひ致します。

賛助（団体）：

神戸ハーバー歯科クリニック、(株)多い夢、日本食研ホールディングス(株)、神戸測量登記事務所、(株)ディ・オー一級建築士事務所、コナカン建設(株)、八代学院

賛助（個人）：

英賀康子、赤本公孝、秋田喜代子、飯塚修三、池本正人、石場紘彦、磯前則光、上田一喜、上田敏昭、上月陽子、江間正子、岡部眞理子、角本稔、上井香代、上内英子、上内鏡子、川崎孝子、河谷保、河谷里美、久保正幸、桑原民、小林昭洋、齊藤勉、櫻谷昌代、島田恒、正垣幸一郎、杉野高司、世良康雄、大和慎吾、高橋瑞枝、高橋都、田崎俊彦、田中寛、田中道子、谷口浩美、谷田志津代、田村宜治、辻本久夫、出口健治、長尾文雄、中西勇、中村三郎、中村澄江、西内芳子、西垣光代、西原直美、計盛哲夫、元正章、服部榮、

東村元嗣、東村和子、東村紀子、久川正博、久川良枝、平井克也、平木是、広崎仁一、深田未来生、福井康代、福留洋平、富士本利子、Martha Mensendiek、宮本修男、村岡敏子、森文子、八代智、矢野幸治、矢野寛子、吉村毅、吉村美紀、吉村信夫、米田成己、李善惠、渡部美津江

寄付金（団体）

神戸ユニオン教会、グローバルミニストリーズ、村田建設(株)、神戸イエス団教会、まつもと、(株)チャイルド社神戸営業所、全労済関東統括本部、(株)ディ・オー一級建築士事務所、こくみん共済COOP関東統括本部

寄付金（個人）：

Alma Reville Otero、芦田恭徳、石元将江、糸原由美子、植本卓雄、岡崎寿子、河合成一、近藤孝子、篠原幸子、正垣幸一郎、田坂妙子、辻本久夫、都倉康之、服部康喜、馬場一郎

真愛ホーム・友愛幼稚園寄付：

紀伊茂、竹谷俊彦、野瀬千津子、藤田有美子

※お名前は五十音、敬称略になっております。

2020年7月1日～2020年11月30日の間に賛助会費をお納めいただいた方々です。掲載には十分注意しておりますが、誤り等ございましたら何とぞお許しください。また、事務局までお知らせくださいますようお願いいたします。

賀川記念館賛助会ご入会とご継続のお願い

■賛助会

賀川記念館の働きを支援することを目的としています。

■賛助会会費

年額は下記の通りとし、一口以上、上限はありません。

個人：一口 1,000円

団体：一口 10,000円

会費は年度ごとの更新とします。

■賛助会員入会と退会

「賀川記念館賛助会 入会申込書」に必要事項をご記入いただき、会費を納入ください。

退会される場合は事務局までご連絡ください。

■賛助会費の使途

賀川記念館の諸事業に活用いたします。

■賛助会費の税控除

個人の方は、所得税にかかる寄付金控除の対象になります。

団体の方は、法人税法により「損金算入」することができます。領収書をご希望の方はお申し出ください。

■賛助会費のお振り込み方法

郵便局：01140-8-372

社会福祉法人イエス団 賀川記念館

銀行：三井住友 三宮支店

普通 3253938

＊＊＊＊紀要第六巻までが出来上りました＊＊＊＊

賀川記念館では、講演会を行った後、その内容を紀要として残しています。その紀要の六巻までが完成しました。第一巻の「現代社会とキリスト教」、第二巻が「子どもと福祉」、第三巻が「いのち・人権」、第四巻が「賀川豊彦」、第五巻が「子どもと福祉II」、第六巻が「賀川豊彦II」です。第七巻「現代社会とキリスト教II」を現在編集中です。

イエス団が賀川豊彦の精神と実践を現代に継承していくために、1999年にイエス団の基本理念を表す「イエス団憲章」を定め、2009年賀川豊彦献身100年の時に実践指針と言える「ミッションステートメント2009」を作成しました。

その中に5つの条文があります。

わたしたちは、いのちが大切にされる社会をつくりだす。

わたしたちは、隣り人と共に生きる社会をつくり出す。

わたしたちは、違いを認め合える社会をつくりだす。

わたしたちは、自然が大切にされる社会をつくり出す。

わたしたちは、平和をつくりだす。

というものです。いずれも、賀川豊彦の精神から出たものです。

これらのこと忘れず意識するように、外部の先生方をお呼びして、講義を聞く機会を作り、またその内容を残していくために紀要を作っています。賀川記念館4階の資料室に揃えていますので、どうぞご来館いただき、閲覧いただきたいと思います。



2020 賀川記念館の歩み

7月

- 30日（木）小寺小学校（下見）
デイジーの会（見学、説明）
31日（金）長尾小学校（下見）
中央小学校（下見）

8月

- 20日（木）コープ地域活動推進委員研修
(見学、説明)

9月

- 17日（木）北五葉小学校4年生学習
(見学、説明)

10月

- 15日（木）小寺小学校4年生学習
(見学、説明)
20日（火）有瀬小学校（下見）
27日（火）神戸大学ゼミ（見学、説明）

11月

- 3日（火）道場小学校（下見）
5日（木）中央小学校4年生学習（見学、説明）
6日（金）頌栄短大（見学、説明）
8日（日）明親小学校（下見）
10日（火）なぎさ小学校（下見）
11日（水）道場小学校4年生学習（見学、説明）
13日（金）中央小学校4年生特別学習（見学、説明）
19日（木）有瀬小学校4年生学習（見学、説明）
20日（金）明親小学校4年生学習（見学、説明）

記念館ミュージアム入場者数

7月	一般 19名	団体 29名	行事 94名	合計 142名
8月	一般 13名	団体 13名	行事 90名	合計 116名
9月	一般 20名	団体 57名	行事 128名	合計 205名
10月	一般 31名	団体 109名	行事 147名	合計 287名
11月	一般 35名	団体 355名	行事 115名	合計 505名

年末年始のお知らせ

賀川記念館・ミュージアム 12月28日（月）～1月4日（月）休館
天国屋カフェ 12月24日（木）～1月6日（水）休業



発行日 2020年12月12日

発行者 馬場一郎

発行所 賀川記念館

〒651-0076 兵庫県神戸市中央区吾妻通5-2-20

tel: 078-221-3627 fax: 078-221-0810

ホームページ <http://core100.net>

お問い合わせ E-mail office@core100.net